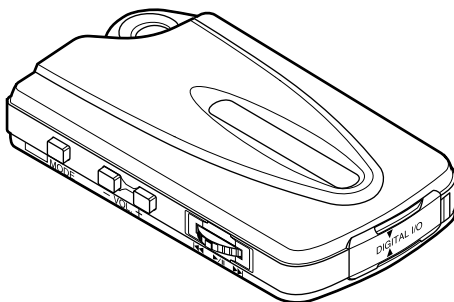
ポータブルデジタルメモリプレーヤー

品番　SSP-PD15

取扱説明書

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は“いつでも見られる所”に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は“保証書付”になっていますので、大切に保管してください。保証書は「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　　番	SSP-PD15
お買い上げ日	年　　月　　日
お買い上げの販売店名	電話（　　）　－

この取扱説明書の印刷には植物性大豆油インキを使用しています。

R100

この取扱説明書は古紙配合100%の再生紙を使用しています。

もくじ

はじめに

準備

操作

その他

ご注意

- 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部異なるところがある場合があります。
- この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

⚠ 警告

■分解・改造しない

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■運転中は使用しない

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、乾電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。

■置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

乾電池について

⚠ 注意

■乾電池は正しく入れる

注意

乾電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ショートさせない

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。乾電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■長時間入れたままにしない

長時間(1週間程度)使用しないときは乾電池を取り出しておいてください。乾電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

乾電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社にFAXかe-mail(53ページ)にてご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、保存内容（データ）の損失を防ぐために、保存データを他の機器にバックアップしてください。

本機の使用中での不具合によるデータ損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。

また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても補償については、当社では責任を負いかねます。　あらかじめご了承ください。

登録商標についての注意

- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

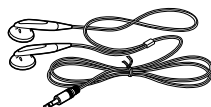
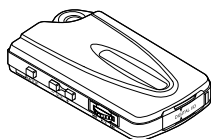
ご注意

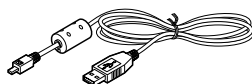
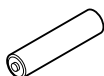
- まず最初にユーザー登録をしてください。登録方法は、弊社ホームページ**http://www.musicsanyo.com/**の「**User Support**」からオンラインでおこなっていただく方法と、添付の「**ユーザー登録カード**」を郵送していただく方法の2通りの方法があります。

付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

- デジタルメモリプレーヤー本体 1

- インナーイヤー型ステレオヘッドホン 1

- 単4形アルカリ乾電池 1

- 専用USB接続ケーブル 1

- パソコンソフトウェア(CD-ROM) 1
- 本書(保証書付) 1
- ユーザー登録カード 1

ご注意

- まず最初にユーザー登録をしてください。
  登録の方法は、**「ユーザー登録カード」**に記載されています。
- 付属のパソコンソフトウェア(CD-ROM)は大切に保管してください。

付属のソフトウェアについて

□権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。

□本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求などにつきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

□万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。

□本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

□本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。

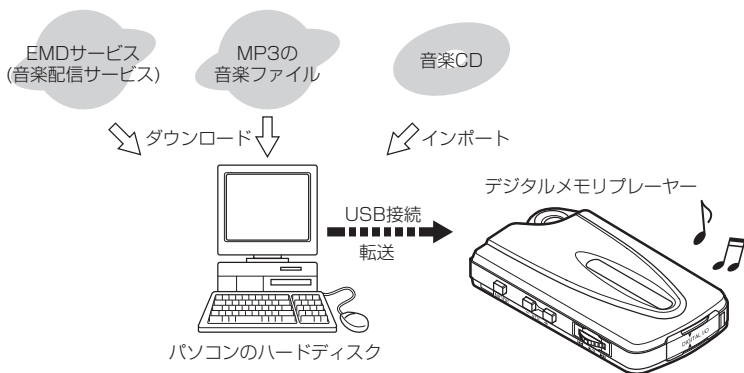
※CD-ROMをオーディオ用プレーヤーでは再生しないでください。

デジタルメモリプレーヤーとは?

パソコンと接続して、内蔵メモリに記録したデジタル音楽データを手軽に持ち運んで聞くことができる、ポータブル機器です

■Microsoft社の「Windows Media Player」を使って音楽データの記録、再生が可能です。

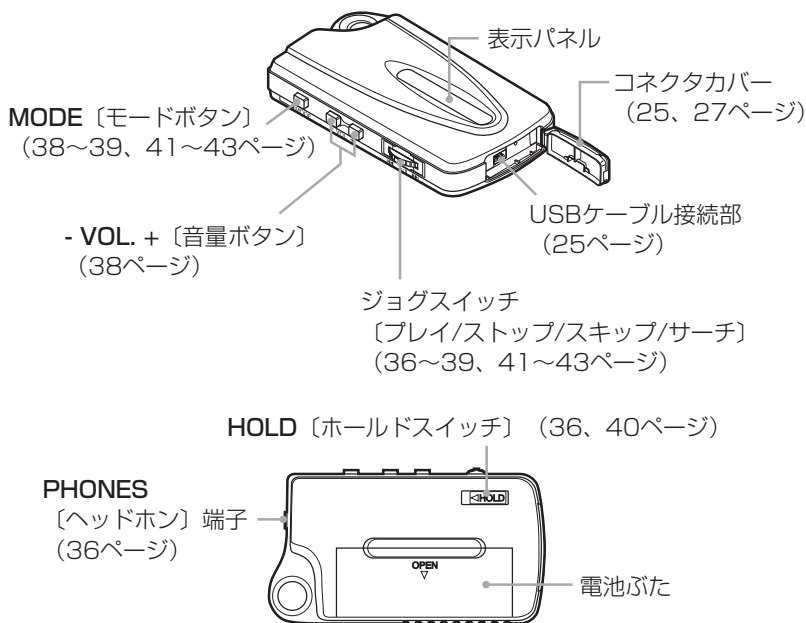
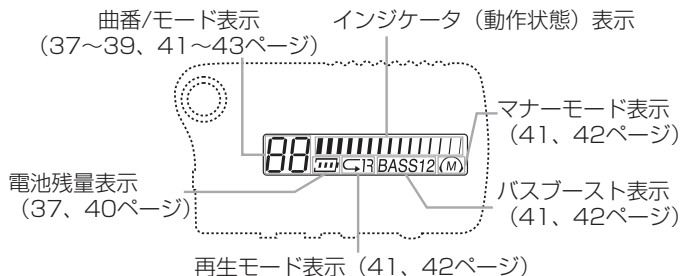
■デジタル音楽データをパソコンのハードディスクに取り込むには、以下のような方法があります。

- インターネットなどを利用した音楽配信サービス(EMD=Electronic Music Distribution)で音楽をダウンロード。
  本機で使用できるのは、WMAの音楽配信データのみです。
- パソコンのCD－ROMドライブからハードディスクに音楽CDをインポート(取り込み)。
  1. Windows Media PlayerでWMA方式に圧縮したファイル

ご注意

- お客さまがインポートしたものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合によりインポートやダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合の補償については、ご容赦ください。

各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

表示パネル

動作環境の確認

本機の動作環境

本機の内蔵メモリに音楽を記録するためには、以下のようなパソコン環境が必要になります。また、本書で説明するソフトウェアを使うには、それぞれのソフトウェアに合った動作環境が必要です。次ページ以降のソフトウェアの環境も確認してください。

■ Windows搭載パソコン ■

(NEC PC-98シリーズとその互換機では動作保証いたしません。また、**Macintoshでは動作しません**のでご注意ください)

対応機種	IBM PC/AT互換機
対応OS(日本語版)	Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows Millennium Edition(Windows Me) Windows 2000 Professional Edition Windows XP(Professional/Home Edition) ※XPはWindows Media Player使用時のみ
CD-ROM	専用ドライバや添付ソフトのインストールに必要
USBポート	本製品接続時にひとつ必要
インターネット音楽配信サービスを利用する場合	インターネットへの接続環境

ご注意

- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  ーWindows 各OSからのアップグレード環境
  ーWindows 95、Windows NT
  ーWindows 各OSのデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンドなどのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- USBハブに接続する場合は、必ずUSBハブにACアダプタをつけてご使用ください。
  また、ご利用の環境によっては、USBハブに接続すると、正常に動作しない場合があります。その場合は、パソコン本体のUSBポートに直接接続してください。

ソフトウェアの動作環境

■ Windows Media Player 7.0以上■

Windows Media Playerは付属のソフトウェアではありません。入手方法は、Microsoft社のホームページをご覧ください。(WindowsXPをご使用の場合は、OS標準の「Windows Media Player for XP」をご使用ください。)
Windows Media Player をお使いいただくには、以下のような動作環境が必要となります。

対応機種	IBM PC/AT互換機
CPU	MMXテクノロジーPentium 300MHz以上推奨
対応OS	Windows 98 Windows 98 Second Edition Windows Millennium Edition(Windows Me) Windows 2000 Professional Edition Windows XP(Professional/Home Edition)
ハードディスクの空き容量	32MB以上 (音楽データ扱い量に比例して、空き容量が必要)
RAM	128MB以上(256MB以上を推奨)
サウンドカード	必須
CD-ROMドライブ	デジタル抽出可能なドライブ
その他	56kbpsモデムまたはLAN 環境でのインターネット接続環境

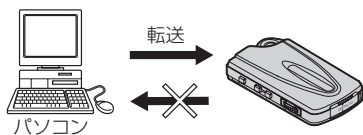
※上記は、2004年6月現在の動作環境です。最新の情報に関しては、Microsoft社にお問い合わせください。

ご注意

- **Windows XPをご使用の場合は、OS標準の「Windows Media Player for XP」をご使用ください。**
- Windows 2000をお使いの場合
  1. 管理者権限(Administrators)のユーザにてご使用ください。
  2. Windows 2000で導入された**「ダイナミックディスク」**には動作保証していません。
- ご使用の環境にWindows Media Player 7.0以上がインストールされている場合は、改めてインストールする必要はありません。
- 音楽CDから入手した音楽データは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ちょっとこれを！

● デジタルメモリプレーヤーからパソコンに音楽データを送り返すことはできません。（下図1参照）

（図1）

音楽を記録するまでのプロセス

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽データを記録し、それを本機に転送する必要があります。

音楽データを記録するには
■ インターネットなどの音楽配信サービスを利用する
■ 音楽CDから作成する
の2通りがあります。

本機で再生できるのは、次の2つの音楽データです。
■ WMA方式の音楽データ(著作権保護対応のDRM付きWMAデータ含む)
■ MP3方式の音楽データ

どの種類の音楽データを記録するかによって、作業が異なります。
音楽配信サービスをご利用いただくときは、そのサービスでサポートされている音楽データ方式を必ず確認してください。
音楽CDを記録するときに、いずれかの音楽データへ変換して、本機へ転送することになりますが、基本的にはどの方式へ変換しても、転送・再生が可能です。

準備

音楽データ方式と対応ソフト

音楽データ	音楽CDからの変換	本機への転送
WMA方式	Windows Media Playerを使用する	同左
MP3方式	市販のソフトウェアを使用する	ファイルコピーを使用する または Windows Media Playerを使用する

ここでは、記録までの流れを音楽データの方式別に説明します。

WMA方式の音楽データの場合

Windows Media Playerを使います。

音楽配信サービスを利用する場合	音楽CDを記録する場合
WMA方式に対応している音楽配信サイトから音楽データをダウンロードします。 ↓ Windows Media Playerを起動し、ダウンロードした音楽データをメディアライブラリへ追加します。	Windows Media Playerを起動し、音楽CDの曲をメディアライブラリへコピーします。 メディアライブラリへのコピーが終わった段階で、音楽ＣＤの内容がWMA方式の音楽データへと変換されます。

↓

本機を接続すると、Windows Media Playerに認識されるので、音楽データを本機へ転送します。
「音楽データを本機に転送する」参照（33ページ）

ご注意

- 音楽配信サイトからダウンロードした音楽データは、ポータブルデバイスへの転送が許可されていない場合があります。その場合は、本機への転送をおこなうことができません。
  あらかじめご確認のうえ、ダウンロードしてください。

MP3方式の音楽データの場合

MP3データがパソコンに用意されていれば、「エクスプローラ」を使って、ファイルコピーするのが一番簡単な方法ですが、Windows Media Playerを使って記録することもできます。
音楽CDを記録する場合は、市販のソフトウェアの説明に沿っておこなってください。

本機を接続すると、リムーバブルディスクとして認識されるので、「エクスプローラ」を使って、用意したMP3データを本機へ転送します。

または

- Windows Media Playerを使って記録する。
  「メディアライブラリに追加するには」参照（32ページ）
  「音楽データを本機に転送する」参照（33ページ）

本機で再生できる曲数について

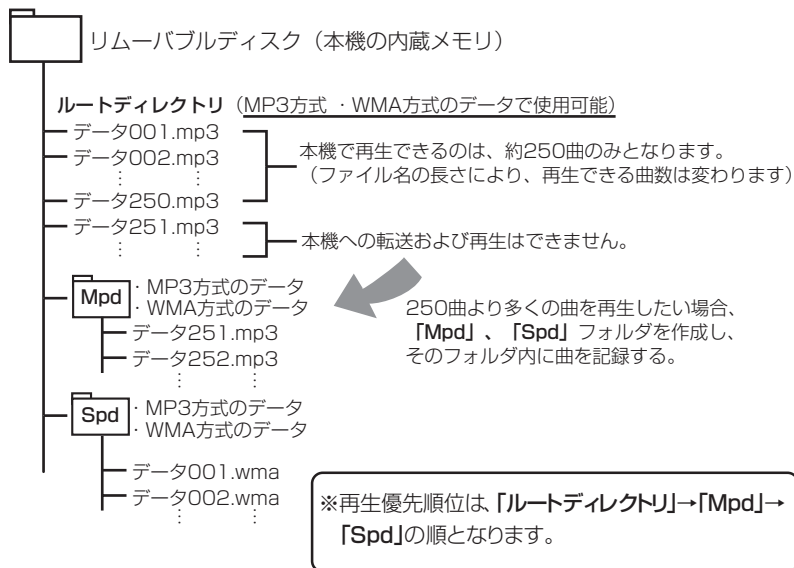
本機で再生できる曲数は、転送先を**「ルートディレクトリ」**(*1)に指定した場合、制限があります。ファイル名の長さ(文字数)にもよりますが、ひとつの目安として250曲を越えるような場合には、パソコンと本体を接続した状態で本機のルートディレクトリの下に**「Mpd」**、または**「Spd」**という名前のフォルダを作成してください(これ以外の名前をつけると再生できません)。このフォルダに曲を記録することで、あわせて**最大500曲**(*2)まで再生可能です。

*1：ルートディレクトリ…ドライブの最上位ディレクトリのこと。

*2：メモリ容量内のファイル数であり、すべて記録できるわけではありません。

※「Mpd」、「Spd」フォルダの作成方法

付属の専用USBケーブルを使用して、本機をパソコンに接続する(25ページ参照)。
Windowsの**[スタート]**にカーソルをあわせて右クリックし、**[エクスプローラ]**を選択する。**[エクスプローラ]**が起動後、**「リムーバブルディスク」**を選択する。**[エクスプローラ]**の**[ファイル]**メニュー - **[新規作成]** - **[フォルダ]**と操作し、**「Mpd」**または**「Spd」**フォルダを作成する。

※再生優先順位は、**「ルートディレクトリ」**→**「Mpd」**→**「Spd」**の順となります。

■ 転送方法の例 ■

例1) MP3データを150曲聞きたい
　　方法1:ルートディレクトリに150曲入れる。
　　方法2:「Mpd」に150曲入れる。
例2) MP3データを300曲聞きたい
　　方法1:ルートディレクトリに200曲、「Mpd」に100曲入れる。
　　方法2:「Mpd」に300曲入れる。
例3) MP3データを300曲、WMAデータを100曲聞きたい
　　方法1:「Mpd」に300曲、「Spd」に100曲入れる。

ご注意

本機は著作権保護機能(DRM)なしの WMAデータおよびMP3データを再生することができますが、あなたが記録したものは個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用できません、MP3データを本機で再生するためには、著作権保護機能(DRM)をOFFに切り替えてください。初期状態はOFFになっています。
(43ページ「著作権保護機能」参照)

ビットレートについて

インポートする際のビットレートを128kbps、96kbps、64kbps、48kbpsなどから選ぶことができます。対応ビットレートは、圧縮フォーマット(WMA、MP3)によって異なります。
高いビットレートでインポートする場合、音質は良くなりますが、本機に転送できる合計時間は短くなります。
低いビットレートでインポートする場合、音質は劣りますが、合計時間は長くなります。

本機の内蔵メモリに転送する場合、以下のようになります。

ビットレート		(128MB)
128kbps	=	約 120 分
96kbps	=	約 160 分
64kbps	=	約 240 分
48kbps	=	約 360 分

※ 曲数などにより、インポート可能時間は異なります。

USBドライバのインストール

ここではお手持ちのパソコンに、USBドライバをインストールする方法を説明します。
画像はWindows XPの場合を例に説明します。

音楽データを作成する前に、必ずこの作業をしてください。

起動中のアプリケーションはすべて終了させてから、以下の作業をしてください。

新規インストール手順

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

※Windows 2000/Windows XPをお使いの場合は、管理者権限（Administrators）を持っているユーザでログインしてインストールしてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに挿入すると、自動的に**[InstallShield ウィザード]**が起動します。自動的に起動しない場合はエクスプローラなどでCD-ROMを参照し、**[¥USB_DRV¥Install]**フォルダ内にある**[setup.exe]**を実行してください。

3 [次へ]をクリックする

4 [続行]をクリックする

以下のように、このドライバがWindowsロゴを取得していないメッセージが表示されますが、**[続行]**をクリックしてください。

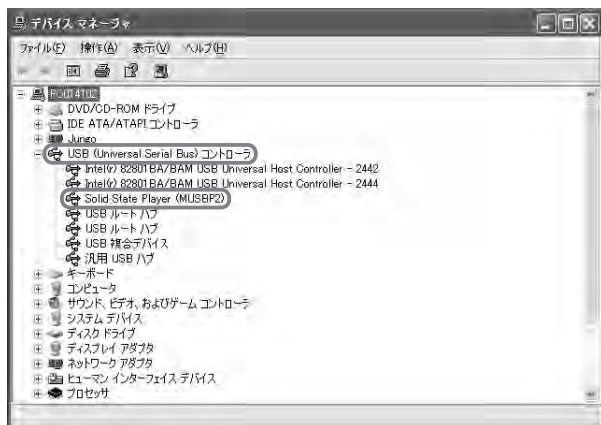
※ このメッセージはWindowsロゴを取得していないすべてのドライバに表示されます。ドライバの動作確認はおこなっていますので、**[続行]**をクリックします。

5 インストールを完了する

[完了]をクリックします。

これで、USBドライバのインストールが完了しました。

ドライバが正しくインストールされているか確かめるには

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。
デスクトップ上の**[マイコンピュータ]**を右クリックし、表示されるメニューから**[プロパティ]**を選択して**[システムのプロパティ]**画面を開きます。
[ハードウェア]タブ内の**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックして**[デバイスマネージャ]**を開きます。**[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]**を開いて下図のように**[Solid State Player(MUSBP2)]**表示されていれば、ドライバが正しくインストールされています。

再インストール手順

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

起動中のアプリケーションはすべて終了させてから、以下の作業をしてください。
※Windows 2000/Windows XPをお使いの場合は、管理者権限（Administrators）を持っているユーザでログインしてインストールしてください。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する

自動的に[InstallShieldウィザード]が起動しますが、ウィンドウ右上の[×]ボタンをクリックし、画面を閉じてください。

3 「デバイスマネージャ」画面を確認する

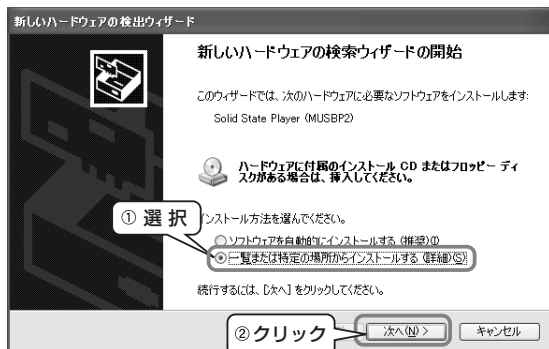
[スタート]メニュー－**[コントロールパネル]**－**[システム]**－**[ハードウェア]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**を開きます。
「!」または、「?」マークのついた**[USB Device]**を右クリックし、**[プロパティ]**を選択してください。

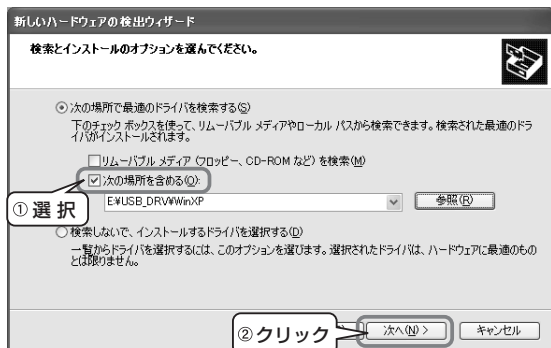
準備

4 [ドライバの更新]をクリックする

[ドライバ] タブ内→**[ドライバの更新]** をクリックします。

5 インストールを開始する

「新しいハードウェアの検索」 が開くので、**[一覧または特定の場所からインストールする]** を選択し、**[次へ]** をクリックしてください。

6 検索とインストールのオプションを選択する

[次の場所で最適なドライバを検索する]を選択し、**[次の場所を含める]**にチェックを入れます。
[参照]ボタンをクリックし、CD-ROMの**「¥USB_DRV¥WINXP」**フォルダを選択し、**[次へ]**をクリックします。
※リムーバブルメディアにはチェックを入れないでください。

7 [続行]をクリックする

以下のように、このドライバがWindowsロゴを取得していないメッセージが表示されますが、**[続行]**をクリックしてください。
※ このメッセージはWindowsロゴを取得していないすべてのドライバに表示されます。ドライバの動作確認はおこなっていますので、**[続行]**をクリックします。

8 インストールを完了する

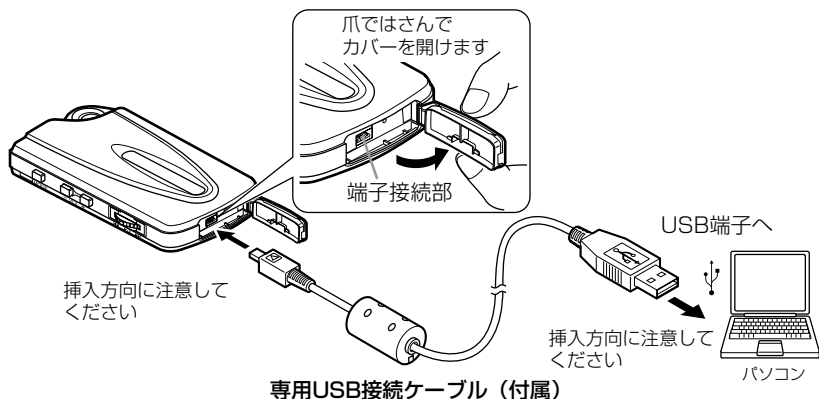
[完了]をクリックします。

これで、USBドライバのインストールが完了しました。

本機をパソコンに接続する

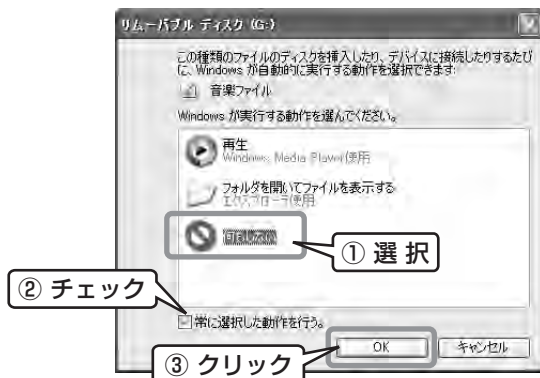
付属の専用USBケーブルを使用して、本機をパソコンのUSB端子に接続することができます(下図参照)。

※ 事前にUSBドライバをインストールしてください。

専用USB接続ケーブル（付属）

※ USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証は致しかねます。必ず付属の専用USBケーブルのみで接続してください。

準備

Windowsが実行する動作を選ぶ

接続後、以下の画面が表示されます（Windows XPのみ）。
Windows98/98SE/Me/2000に関しては、この操作はありません。（以降、説明で使用する画面はWindowsXPとなります）

お客さまの使用環境に合わせて設定してください。
本書の例では**[何もしない]**を選択後、**[常に選択した動作を行う。]**にチェックし、**[OK]**をクリックしています。
これで、パソコンとの接続は完了です。

パソコンに接続している間、下図のような画面になり、どの操作ボタンを押しても反応しません。
本機をパソコンから取り外すときは、27ページの「本機を取り外すには」の作業を必ずおこなってください。通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

[パソコン接続時の本機表示]

[パソコンとの通信時の本機表示]

本機を取り外すには

Windows起動中に本機を取り外す場合、ご使用のOSによって取り外し方が異なりますので、必要な箇所をお読みください

Windows 98/Meの場合

1 表示パネルのインジケータを確認する

インジケータが**点滅していないこと**を確認します。

2 パソコン側のUSBポートからUSBケーブルを取り外す

3 本機側のUSBケーブルを抜き、コネクタのカバーを閉める

Windows 2000の場合

1 画面右下の[タスクトレイ]のアイコンをクリックする

2 表示された「～を停止します」をクリックする

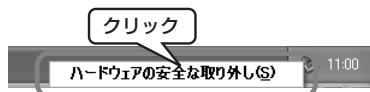
[Solid State Player(MUSBP2)-ドライブを停止します]が表示されていることを確認し、クリックします。

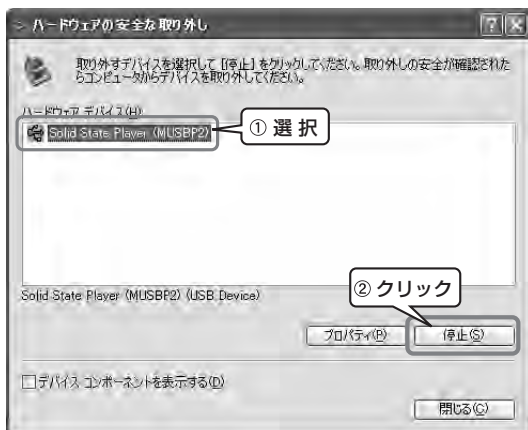
3 [OK]をクリックする

27ページ「**Windows 98/Meの場合**」を参照し、本機を取り外してください。

Windows XPの場合

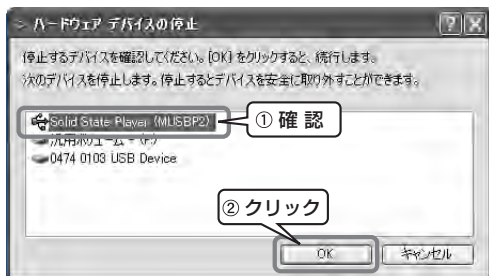
1 画面右下の[タスクトレイ]のアイコンをクリックする

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする

3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[Solid State Player(MUSBP2)]が選択されていることを確認し、**[停止]**をクリックします。

4 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

[Solid State Player(MUSBP2)]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックします。

27ページ「Windows 98/Meの場合」を参照し、本機を取り外してください。

準備

デジタルメモリプレーヤーに音楽をいれる

ここではWindows Media Playerを使用して音楽データ(WMAファイル)を作成し、本機に転送する方法を説明します。

音楽CDからWMAデータを作成する

ここでは、CDの曲をWMA方式の音楽データに変換し、メディアライブラリにコピーする方法を説明します。

ご注意

お使いの環境によっては、Windows Media Playerを使用中にダイヤルアップ接続画面が表示される場合がありますが、その場合はインターネットに接続してください。

1 Windows Media Playerを起動する

2 [CDからコピー]をクリックする

● Windows Media Playerのバージョンによって表記が異なります。

3 音楽CDをCD-ROMドライブにセットする

曲情報を入手して表示します。表示されない場合は**[名前の取得]**をクリックしてください。インターネットに接続していない場合や音楽CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。

[ツール]－**[オプション]**－**[音楽のコピー]**タブより**「コンテンツを保護する」**にチェックを入れてください。

4 WMAデータに変換したい曲を選択する

変換したい曲をチェックして、**[音楽のコピー]**をクリックします。

5 コピー(データ変換)を開始する

選択した曲がすべて**[ライブラリにコピー済み]**と表示されたら、処理完了です。

これで、音楽CDの内容がWMA方式の音楽データに変換され、メディアライブラリにコピーされます。

メディアライブラリの内容を本機に転送するには、33ページ**「音楽データを本機に転送する」**をご覧ください。

ちょっとこれを!

● **音楽データの再生順番を指定するには…**

1. **[メディアライブラリ]**で新しい再生リストを作成する
2. そのリストの中に希望の曲順で曲を入れる
3. 内蔵メモリを初期化した状態の本機に、作った再生リストを転送すると、希望通りの曲順で再生できます。

※本機にデータ転送後は、曲順を変更することはできません。

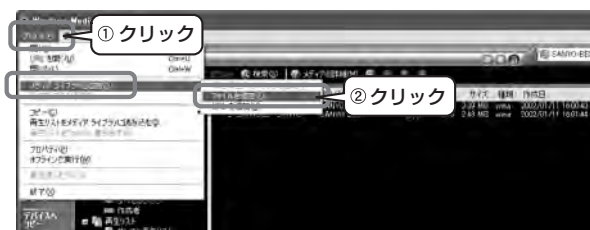
メディアライブラリに追加するには

音楽配信サービスなどで入手した音楽データを本機に転送するには、まずメディアライブラリに追加することが必要です。**(音楽配信データによっては、メディアライブラリに自動的に追加される場合がありますので、その場合は以下の作業をする必要はありません。)**
メディアライブラリに追加できるのは、WMAデータ、MP3データです。

1 Windows Media Playerを起動する

2 [ファイルの追加]をクリックする

初期画面が表示されたら、**[ファイル]**－**[メディアライブラリに追加]**－**[ファイルを追加]**の順にクリックします。

● Windows Media Playerのバージョンによって表記が異なります。

3 追加したい音楽データを選ぶ

メディアライブラリに追加したい音楽データを選択して、**[開く]**をクリックします。

4 選択した音楽を確認する

選択した音楽データがメディアライブラリに表示されるので、内容を確認します。

これで、音楽データがメディアライブラリに追加されました。
メディアライブラリの内容を本機に転送するには、下記**「音楽データを本機に転送する」**をご覧ください。

音楽データを本機に転送する

ここでは、パソコンに登録された音楽データを本機に転送する方法を説明します。

1 本機をパソコンに接続する

接続方法は、25ページ:**「本機をパソコンに接続する」**をご覧ください。

2 [デバイスへコピー]をクリックする

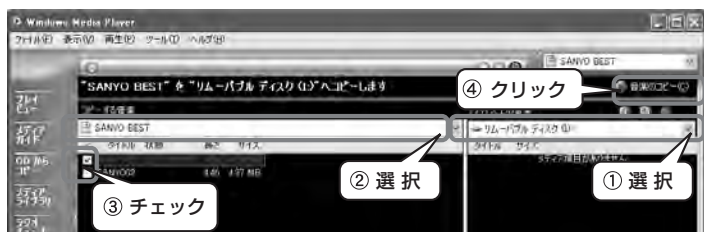
● Windows Media Playerのバージョンによって表記が異なります。

3 転送先として、「リムーバブルディスク」を選択し、転送したい音楽を選ぶ

転送先のデバイスとして、本機のドライブ**「リムーバブルディスク」**を選択します。

※リムーバブルディスク内に**「Mpd」**、**「Spd」**フォルダを作成し(16ページ参照)、その中にデータを転送する場合は、そのフォルダを選択してください。

※デバイスが表示されない場合は、パソコンの**[F5]**キーを押して状態を更新してください。それでも表示されない場合は、本機をパソコンに接続したまま、Windows Media Playerを再起動してください。
それでもなお表示されない場合は、**「故障かな?と思うまえに」**44ページをご覧ください。

本機に転送したい音楽のチェックボックスにチェックマークをつけ、**[音楽のコピー]**をクリックします。

4 コピーを開始する

「状態」が、**[コピーをしています]**から**[完了]**と変わったら、転送完了です。

● Windows Media Playerのバージョンによって表記が異なります。

ご注意

転送中は絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

5 Windows Media Playerを終了する

画面右上の[×]をクリックして、Windows Media Playerを終了します。

これで本機に音楽が転送されました。

Windows Media Playerで転送したデータはエクスプローラで確認することができます。Windowsの**[スタート]**にカーソルをあわせて右クリックし、**[エクスプローラ]**を選択してください。**[エクスプローラ]**が起動後、**[マイコンピュータ]**内の**[リムーバブルディスク]**を参照します。
34ページ手順3で、音楽データの転送先として指定した場所(ルートディレクトリ、Mpdフォルダ、Spdフォルダ)に、転送したデータが保存されています。

この後、本機で音楽を楽しむには、36ページ**「デジタルメモリプレーヤーで音楽を聞く」**をご覧ください。

■ 本機に転送された音楽データを削除するには…

1. 本機をパソコンに接続する。
2. Windows Media Playerを起動する。
3. **[デバイスへコピー]**をクリックする。
4. **「デバイス上の音楽」**が**「リムーバブルディスク」**であることを確認する。
5. 削除したい曲を選択し、**[デバイス上の音楽]**の上にある✕をクリックする。

● Windows Media Playerのバージョンによって表記が異なります。

ご注意

- Windows Media Player 7 および 7.1 では、**「Mpd」**、**「Spd」**フォルダが表示されませんので、Windows Media Player上では**「Mpd」**、**「Spd」**フォルダに転送することができません。その場合は[エクスプローラ]を使用して、**「Mpd」**、**「Spd」**フォルダに音楽データを転送してください。
- 本機で再生できるWMA方式データは32～160kbpsのファイルのみとなります。
- EMDで購入する楽曲のなかには、本機に転送許可されていないものもあります。楽曲購入時には転送許可があることを楽曲配信サイトにて確認してください。
- WMAファイルの使用および著作権管理方式が変更になった場合には、本機にてWMAファイルが再生できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。

デジタルメモリプレーヤーで音楽を聞く

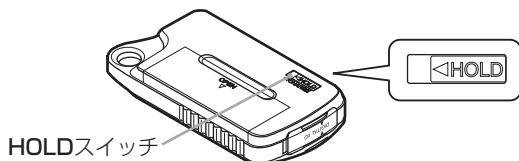
ここでは、本機に記録された音楽データを聞く方法を説明します。

音楽を聞く前に以下をお読みください

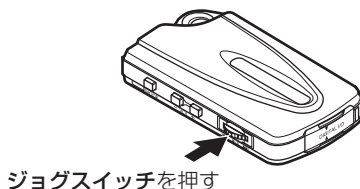
- アルカリ乾電池をセットしてください。
- **本機がパソコンに接続されていないこと**を確認してください。

基本の操作をおこなう

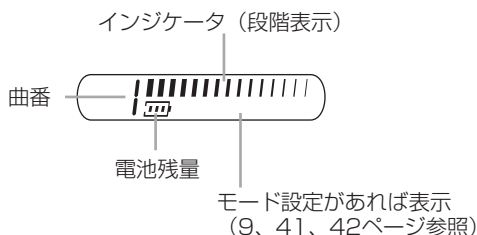
1 HOLDスイッチをOFFにする

本機裏面のHOLDスイッチがOFF(右側にスライド)になっているかどうかを確認します。

2 ヘッドホンをつなぐ

3 本機の電源を入れる

ジョグスイッチを押して、本機の電源を入れます。

※電源を入れてもすぐに電源が切れるときには、「故障かな?と思うまえに」44ページをご覧ください。

4 音楽を再生する

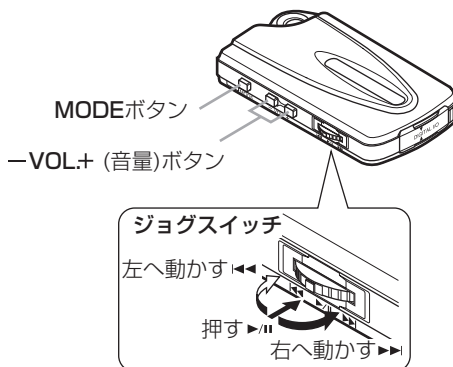
再生中の表示パネルを下記に示します。
再生中の操作については、次ページを参照してください。

ご注意

表示パネル上で、曲番は99曲までしか表示されません。100曲以上は、「ーー」と表示されます。

5 本機の電源を切る

ジョグスイッチを約3秒間長押しすると、電源が切れます。
表示パネルに「OF」と表示されるまで、ジョグスイッチを押し続けてください。
出荷時設定では、全曲再生すると自動的に電源が切れます。

ジョグスイッチを約 3 秒間長押しする

再生中にいろいろな操作をおこなう

したいこと	操作	表示パネル
電源を切りたい	**ジョグスイッチ**を長押しする	曲番表示域に「OF」と表示
音量を変えたい	-VOL.+(音量)ボタンを押す	曲番表示域に音量レベルを表示
一時停止をしたい	**ジョグスイッチ**を押す 一時停止状態で約10秒間操作しないと、自動的に電源が切れます。 この後、再度電源を入れると、一時停止したところから再生します。 ※ランダムリピート中に一時停止して、再度電源を入れる(再生状態にする)とランダムにトラックの頭から再生します。	インジケータが点滅
一時停止を解除して再生したい	一時停止中に**ジョグスイッチ**を押す	インジケータが段階表示
次の曲を再生したい	**ジョグスイッチ**を右に動かす(*1)	再生する曲番を表示
再生中の曲を先頭から再生したい	**ジョグスイッチ**を左に1回動かす	ー
前の曲を再生したい	**ジョグスイッチ**を左に動かす(*1)	再生する局番を表示

したいこと	操作	表示パネル
早送りしたい(*2)	**ジョグスイッチ**を右に動かしたままにする	インジケータが右に早く表示
早戻ししたい(*2)	**ジョグスイッチ**を左に動かしたままにする	インジケータが左に早く表示
リピート再生したい	**MODE**ボタンを押す (42ページ**「再生モード」**参照)	曲番表示域にモードを表示
音質や音を変えたい	**MODE**ボタンを押す (42ページ**「バスブースト/サウンド」**参照)	曲番表示域にモードを表示
操作時のビープ音を変えたい	**MODE**ボタンを押す (43ページ**「ビープ音」**参照)	曲番表示域にモードを表示
ジョグスイッチの機能を切り替えたい	**MODE**ボタンを押す (43ページ**「オペレーション」**参照)	曲番表示域にモードを表示
著作権保護を切り替えたい	**MODE**ボタンを押す (43ページ**「著作権保護機能」**参照)	曲番表示域にモードを表示
記録した曲すべてを削除したい	**MODE**ボタンを押す (43ページ**「フォーマット」**参照)	曲番表示域にモードを表示

*1　オペレーション設定が「Sk」になっているときは、ジョグスイッチを右または左に動かしたままにすると、次または先の曲の頭出しをします。(43ページ**「オペレーション」**参照)

*2　オペレーション設定が「SE」になっているときのみ有効です。(43ページ**「オペレーション」**参照)

内蔵メモリのフォーマット(初期化)

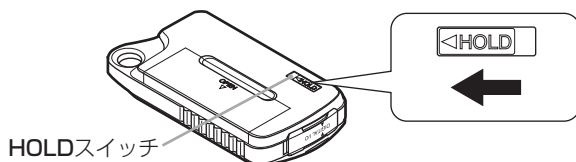
本機をパソコンに接続して、内蔵メモリをフォーマットしないでください。
内蔵メモリをフォーマットするには、**ジョグスイッチ**を押しながら**VOL.+**ボタンを「Fo」表示がでるまで(約5秒間)押してください。また、**MODE**ボタンを押してメニューモードからも同様にフォーマットすることができます。くわしくは、43ページをご覧ください。
本機の内蔵メモリは、お買い上げ時にすでにフォーマットされていますので、再度フォーマットする必要はありません。

ご注意

- フォーマットする前に内容をよくご確認ください。内蔵メモリに記録されたデータはすべて消されます。

誤動作を防止する

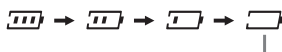
カバンやポケットに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて再生が中断したりすることを防ぎます。

本機裏面のHOLDスイッチを矢印の方向へスライドします。
HOLDの状態になっていると、どの操作ボタンを押しても操作は受け付けません（表示パネルには「Hd」と表示）。
電源を入れても、すぐに切れます。

HOLD機能を解除するには、HOLDスイッチを逆方向へスライドします。

電池について

電池の連続再生時間は、以下の通りです。

市販のアルカリ乾電池 .... 約　6時間

電池の残量は表示パネルに表示されています。電池残量は以下のように変わります。
残量が少なくなると、ビープ音の後、表示パネルに「LO」と表示されて、電源が切れます。

乾電池を交換してください。

ご注意

- 連続再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態 使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。また、低温の環境でご使用になりますと、連続再生時間は短くなります。

モードを設定する

ここでは、本機のモード設定について説明します。
これらの設定は、**音楽再生中**にMODEボタンを押し、**ジョグスイッチ**を使っておこないます。モードを設定するときは、音楽を記録してからおこなってください。
設定の内容は表示パネルに表示されます。

モード一覧

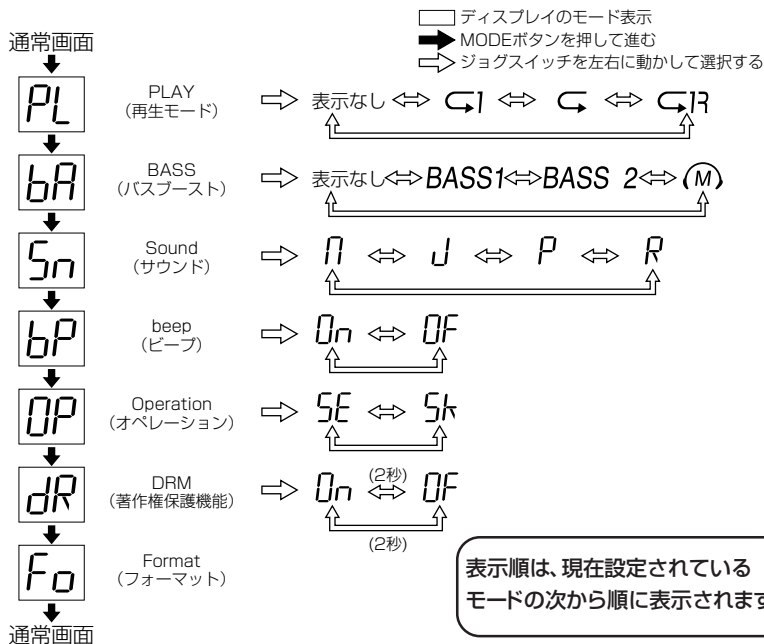
操作ボタンと表示パネルの遷移を示します。
設定したモードは電源を切る時にメモリに記憶されます。操作途中で電池を抜いたりしますと、設定したモードはメモリに記憶されません。

□ ディスプレイのモード表示
➡ MODEボタンを押して進む
⇨ ジョグスイッチを左右に動かして選択する

通常画面
↓

表示	モード	選択
PL	PLAY (再生モード)	⇨ 表示なし ⇔ ⟲1 ⇔ ⟲ ⇔ ⟲R
bA	BASS (バスブースト)	⇨ 表示なし⇔BASS1⇔BASS 2⇔(M)
Sn	Sound (サウンド)	⇨ N ⇔ J ⇔ P ⇔ R
bP	beep (ビープ)	⇨ On ⇔ OF
OP	Operation (オペレーション)	⇨ SE ⇔ Sk
dR	DRM (著作権保護機能)	⇨ On ⇔(2秒) OF (2秒)
Fo	Format (フォーマット)	

↓
通常画面

表示順は、現在設定されているモードの次から順に表示されます。

モードの詳細

モードを切り替えるときは**MODE**ボタン、設定内容を切り替えるときは**ジョグスイッチ**を使います。設定したい内容を表示させた後、しばらく操作をしないでいるとその設定が確定され、通常の再生画面に戻ります。

モード	設定内容	
PL（再生モード）	再生時のリピート状態を切り替えます。	
	PL	全曲1回のみ再生
	PL ⊂1	1曲リピート
	PL ⊂	全曲リピート
	PL ⊂R	ランダムリピート
bA（バスブースト）	音質を切り替えます。	
	bA	通常再生
	bA BASS1	バス再生1
	bA BASS 2	バス再生2
	bA (M)	マナーモード（*1）
Sn（サウンド）	音楽に合った音に切り替えます。	
	n	ノーマル
	J	ジャズ
	P	ポップ
	R	ロック

*1　マナーモードはヘッドホンから洩れる音を抑える機能です。
　　周囲の迷惑になる場所での再生に効果的です。

<table>
<tr><th>モード</th><th>設定内容</th></tr>
<tr><td>bP
（ビープ音）</td><td>ボタンを押したときのビープ音の有無を切り替えます。
On　ビープ音あり
OF　ビープ音なし</td></tr>
<tr><td>OP
（オペレーション）</td><td>ジョグスイッチを左または右に動かしたままにしたときの操作を切り替えます。
SE　スキップ/サーチ兼用
再生曲内の早送りまたは早戻しをおこないます。
Sk　スキップ専用
次々に曲の頭出しをおこないます。</td></tr>
<tr><td>dR
（著作権保護機能）</td><td>著作権保護機能の有無を切り替えます。設定後に電源を入れなおすと有効になります。
※本機能は間違って切り替わらないように、ジョグスイッチを左または右に約2秒動かしたままにすると、著作権保護機能が切り替わるようにしています。
On　保護機能ON
OF　保護機能OFF
○:再生可　×:再生不可
<table>
<tr><th>著作権保護機能</th><th>ON</th><th>OFF</th></tr>
<tr><td>MP3ファイル</td><td>×</td><td>○</td></tr>
<tr><td>DRM付WMAファイル</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>DRMなしWMAファイル</td><td>×</td><td>○</td></tr>
</table>
著作権についてのご注意
本機は著作権保護機能（DRM）なしのWMAデータおよびMP3データを再生することができますが、あなたが記録したものは個人として楽しむほかは著作権上、権利者に無断で使用できません。</td></tr>
<tr><td>Fo
（フォーマット）</td><td>内蔵メモリをフォーマット（初期化）します（全曲削除）。
Fo
この状態で、ジョグスイッチを右側に動かしたままにします。
フォーマット終了後、「OF」が表示され、電源が切れます。</td></tr>
</table>

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
原因が複数ある場合は簡単なものから先に説明してあります。上から順番に解決してください。

本機使用時のトラブル

電源を入れても、表示パネルが表示されない

原　因:1	乾電池が正しく入っていないか、電池切れである。
解決方法	乾電池が正しく入っていることを確認してください。 一度乾電池を完全に抜いてから、乾電池を入れ直してください。 市販の新しいアルカリ乾電池に替えてください。

電源を入れると表示パネルは表示されるが、すぐに電源が切れる

原　因:2	HOLD状態になっている。
解決方法	表示パネルに「Hd」と表示されてすぐに電源が切れる場合は、HOLD状態になっています。HOLDスイッチを逆方向にスライドさせてHOLD状態を解除してから、電源を入れてください。 40ページ「誤動作を防止する」参照

原　因:3	何も記録されていない、または記録先のフォルダが間違っている。
解決方法	再生できる音楽データを正しいフォルダ(「ルートディレクトリ」、「Mpd」、「Spd」)に記録してください。 13ページ「音楽を記録するまでのプロセス」参照

原　因:4	内蔵メモリが異常である
解決方法	内蔵メモリをフォーマット(初期化)してから、再度音楽データを記録してください。 39ページ「内蔵メモリのフォーマット(初期化)」参照 43ページ「モードの詳細(フォーマット)」参照

原　因:5	本機の著作権保護機能がONになっているか、著作権保護対象の音楽データ(DRM付きWMAデータ)が記録されていない。
解決方法	本機の著作権保護機能をOFFにしてください。ONになっていると、著作権保護の音楽データ(DRM付きWMAデータ)しか再生できません。 設定をOFFにするには以下の操作をしてください。 1.　ジョグスイッチを押して、電源を入れ、電源が切れる前に再度ジョグスイッチを押して、ポーズ状態にする 2.　MODEボタンを押して、「dR」(著作権保護機能)モードにする 3.　ジョグスイッチを右か左に約2秒間動かして設定を「OF」にする 4.　電源をOFFにする 本機の初期設定は「OF」にしています。 43ページ「モードの詳細(著作権保護機能)」参照

電源を入れると表示パネルは表示されるが、音楽が再生されない

原　因:6	音量が小さい。
解決方法	表示パネルが表示されているときは、音量が小さすぎることが考えられます。-VOL.+(音量)ボタンを押して音量を上げてください。 38ページ「再生中にいろいろな操作をおこなう」参照

原　因:7	再生できる音楽データではない。
解決方法	曲番が点滅して再生できない場合は、音楽データの圧縮形式が正しくても、本機への転送方法が正しくない場合がありますのでご確認ください。 13ページ「音楽を記録するまでのプロセス」参照

原　因:8	本機の著作権保護機能がONになっているか、著作権保護対象の音楽データ(DRM付きWMAデータ)が記録されていない。
解決方法	本機の著作権保護機能をOFFにしてください。ONになっていると、著作権保護の音楽データ(DRM付きWMAデータ)しか再生できません。 45ページ「原　因:5」の解決方法参照

どのボタンを押しても反応しない

原　因:9	HOLD状態になっている。
解決方法	HOLDスイッチがHOLD位置になっていないか、確認してください。HOLD状態を解除するには、HOLDスイッチを逆の方向へスライドさせてください。 40ページ「誤動作を防止する」参照

原　因:10	USBケーブルを接続したままである。
解決方法	本機側のUSBコネクタを外してください。

曲番が点滅して、その曲だけが再生できない

原　因:11	再生できる音楽データではない。
解決方法	音楽データの圧縮形式が正しくても、本機への転送方法が正しくない場合がありますのでご確認ください。 13ページ「音楽を記録するまでのプロセス」参照

原　因:12	本機の著作権保護機能がONになっているか、著作権保護対象の音楽データ(DRM付きWMAデータ)が記録されていない。
解決方法	本機の著作権保護機能をOFFにしてください。ONになっていると、著作権保護の音楽データ(DRM付きWMAデータ)しか再生できません。 45ページ「原　因:5」の解決方法参照

音楽を再生すると、音飛びがする

原　因:13	音楽記録時に使用しているCD-ROMドライブが、オーディオキャプチャに対応していない。
解決方法	オーディオキャプチャに対応したCD-ROMドライブを使用してください。

原　因:14	転送が正しくできていない。
解決方法	同じ箇所で音飛びする場合は、内蔵メモリをフォーマット(初期化)してから、再度音楽データを転送(記録)してください。 39ページ「内蔵メモリのフォーマット(初期化)」参照 43ページ「モードの詳細(フォーマット)」参照

パソコンに接続したときに、本機がパソコンに認識されない

原　因:15	USBドライバが正しくインストールされていない。
解決方法	USBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 **[確認方法](Windows98/Me/2000の場合)** 1. **[マイコンピュータ]**を右クリックする 2. **[デバイスマネージャ]**タブを開く 3. **[ユニバーサルシリアルバスコントローラー]**内の**[Solid State Player]**を右クリックして**[プロパティ]**を選択 4. **「このデバイスは正常に動作しています」**が表示されていると、インストールは正しくおこなわれています。 ※この表示がでない場合は、再度インストールをしなおしてください。 21ページ「再インストール手順」参照 **[確認方法](WindowsXPの場合)** 1. **[マイコンピュータ]**を右クリックしてシステムを開く 2. ハードウェアタブを開いて、**[デバイスマネージャ]**をクリックする 3. あとは、上記「Windows98/Me/2000の場合」の項目3以降と同じ処理をしてください。

インストール時のトラブル

リムーバブルディスクが表示されない

原　因:16	パソコンと本機が正しく接続されていない。
解決方法	● パソコンのUSBポートに最後まで差し込まれているか、本機側のUSBコネクタが最後まで差し込まれているかどうかを確認してください。 ● 他にUSB接続機器を接続している場合、外してください。 ● 別のUSBポートに差し込んでみてください。 ● USBハブのポートに差し込んだ場合は、パソコン本体のUSBポートに差し込んでみてください。

原　因:17	ネットワークドライブが割り当てられている。
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があります。 ネットワークドライブの割り当てを変更してから、再度接続してください。ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　因:18	USBドライバが正しくインストールされていない
解決方法	USBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 47ページ「原　因:15」の解決方法参照

「デバイス上の音楽」に、「リムーバブルディスク」と表示されない（Windows Media Player使用時）

原　因:19	USBドライバが正しくインストールされていない
解決方法	USBドライバが正しくインストールされているか確認してください。 47ページ「原　因:15」の解決方法参照

本機への転送時のトラブル

転送できる曲が少ない

原　因:20	本機に音楽以外のデータが入っている。
解決方法	デジタルメモリプレーヤー内に音楽以外のデータが入っていると、その分転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。

取り扱いと保管について

ご注意

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房機器の近く
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く

温度上昇について

長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

お手入れ

本体のお手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因となることがあります。常に良い音でお聞きいただくために、ヘッドホンのプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

用語解説

イーエムディー
EMD(インターネット音楽配信)サービス

「Electronic Music Distribution」の略で、インターネットやデジタルCS放送、CATVなどのデジタルネットワークによる“電子音楽配信サービス”。

エムピースリー
MP3

ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGが1992年に制定した音声情報圧縮の国際規格「MPEG-1 Audio Layer 3(IEC標準1172-3)」です。この圧縮方式では、1/10～1/12の圧縮率を得ることができます。

ダブリュエムエー
WMA(Windows Media Audio)

マイクロソフト社が開発したファイル形式で、本機ではWindows Media™ PlayerからWMAファイルを転送して再生することができます。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表す数字のことで、単位はbps(bit per second)、読み方は「ビーピーエス」です。

主な仕様

記録時間	:	ビットレート
	約120分	(128kbps)
	約208分	(78kbps)
	約240分	(64kbps)
	約360分	(48kbps)

※対応ビットレートは圧縮フォーマット(WMA、MP3)によって異なります。

サンプリング周波数	：16～44.1kHz
対応ビットレート	：16～192kbps(MP3) 32～160kbps(WMA)
再生信号圧縮方式	：マルチデコード方式(WMA、MP3)
再生周波数	：20～20,000Hz
出力端子	：ヘッドホン3.5φ(ステレオミニジャック)
S/N比	：80dB
動作温度	：－5℃～＋40℃
定格出力	：5mW＋5mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
電源	：単４形乾電池×１本(アルカリ乾電池)
電池持続時間	：アルカリ乾電池　約 6時間 ※連続再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。また、低温の環境でご使用になりますと、連続再生時間は短くなります。
最大外形寸法	：幅42.8×高さ79.9×奥行き18.1mm（突起部を含まず）
質量	：約46g（乾電池含む）
付属品	：単４形アルカリ乾電池 .... (1) インナーイヤー型ステレオヘッドホン ..... (1) 専用USB接続ケーブル .... (1) パソコンソフトウェア（CD-ROM）.. (1) 本書(保証書付) .... (1) ユーザ登録カード .... (1)

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

※ 包装箱の品番の末尾のアルファベット文字は色表示の記号です。
色は異なっても操作方法と仕様は同じです。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ポータブルデジタルメモリプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口(修理相談窓口)

1. インターネットによる「FAQ」でお問い合わせの多い事例を紹介しています。
   URL: http://www.musicsanyo.com/faq.html→ 名称は「MUSIC SANYO」です。
   この中に「FAQ」を掲載しています。
2. ファックスやメールによるご相談
   FAX: **072-870-6070**　　e-mail: info_STS@dt.sanyo.co.jp

お使いになってご不明な点、技術的なご質問などをお問い合わせください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名: SSP-PD15
- ご相談内容: できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- シリアルNo.: 本体裏(電池カバー裏)に貼り付けています
- ご使用のパソコン環境:
  - ・パソコン機種名　・WindowsのOS　・ハードディスクの容量
  - ・パソコン品番(型番)　・メモリ容量　・お使いのウィルスチェック系ソフトウェア名

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客様ご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間が経過した後の修理についての詳細は“保証とアフターサービス”の項をご覧ください。

持込修理

製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書54ページ記載内容で無料修理をおこなうことを約束するものです。詳細は54ページをご参照ください。

品　番	SSP-PD15
保証期間	お買い上げ日から　本体1ヵ年
※お買い上げ日	年　月　日
※お客さま	ご住所 お名前　様 電　話　(　)　—
※販売店	電　話　(　)　—

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

製造元　**三洋電機株式会社**

三洋テクノ・サウンド株式会社

〒574-8534　大阪府大東市三洋町1番1号　電話 **大東(072)**870-4186(直通)